

【益田市】

1人1台端末の利活用に係る計画

<p>1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿</p>	<p>益田市では、1人1台の端末が導入されることを、単に個人のICT能力の向上に留めるのではなく、本市が進める「ひとが育ち輝くまち 益田」の実現に向けた、すばらしいチャンスと捉えている。将来的には、学校外での学び、地域での学びでも活用し、それが相互につながりながら学習していくことが、益田の小・中・高校生には自然にできるようになることを目指している。</p> <p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none">・ 端末を自宅に持ち帰って家庭学習に活用したり、学校での学びの様子を家庭でも共有できるようにする。・ 神楽やボランティア活動など自分が地域社会の中で取り組んでいることを記録し、キャリアパスポートに使用する・ 高等学校の入試の志望動機等を書くときの資料や入試そのものに端末を持ち込み、面接で自己PRをする。 等
<p>2. GIGA 第1期の総括</p>	<p>1. 1人1台端末の利活用</p> <ul style="list-style-type: none">・ 東京学芸大学、Dynabook、益田市の三者による、1人1台端末を使用した実証研究を平成28年度から現在に至るまで継続実施中。・ 推進校を指定し、公開授業及び研究協議を実施し、端末の活用事例を創出。・ 毎年度、シンポジウムを開催し、端末の利活用方法を共有。・ これまでの活用方法の横展開をねらい、令和6年度より推進校の指定数を増加。・ 市内全校対象の研修会を実施。 <p><創出・共有された主な活用事例></p> <ol style="list-style-type: none">① オンライン登校② 他校とのオンライン合同授業③ 地域、外部講師との連携④ 授業と家庭学習との往還⑤ e-ポートフォリオ 等 <p>2. 高速インターネットの整備</p> <ul style="list-style-type: none">・ 令和3年度より高速インターネット整備に向けた要件整理を行い、必要な設計を構築、令和4年度より順次着手。・ 令和6年度、市内全校に基幹線10Gbps、末端1Gbpsの回線

	<p>を敷設完了。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 6 年度、Wi-Fi 6 規格のルーターを、特別教室を含めて全教室に設置完了 ・ 令和 6 年度、校内配線を Cate6A、Cate6 に交換完了 ・ 令和 6 年度、アセスメントを実施し、830Mbps を計測。
<p>3. 1 人 1 台端末の利活用方策</p>	<p>「気付きと対話」のある授業づくり推進事業（R6～R9）</p> <p><事業目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「気付きと対話」のある授業づくりに取り組むことで、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。 ・ 学力育成に係る各校の取組や実践が充実したものになるように指導支援する。 ・ 1 人 1 台端末を効果的に活用することで、「気付きと対話」のある授業づくりを推進する。 <p><端末活用の充実に向けた方策></p> <p>① 1 人 1 台端末活用授業実践の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 端末活用に係る授業研究を各校で実施。 ・ 端末活用に係る推進校として小中合わせて数校選定。 ・ 推進校は年度ごとに選定し、研究成果を発表する場を設ける。 ・ 外部有識者に推進校に対する指導助言を依頼。 <p>② 1 人 1 台端末活用研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各校実施するとともに担当者による悉皆研修を実施。 ・ 個別最適な学びと協働的な学びを充実させるために、すべての教職員が端末を「学びの道具」として教育活動に活用できるように指導・助言を行う。 ・ 各校が端末活用に係る様々な研修ができるように計画実施する。 ・ 端末活用に係る実践事例を紹介し、各校での端末活用に係る機運を醸成する。 ・ 研修の充実を図るために保守業者と協力して運営に当たる。 <p>③ 端末活用に係るプロジェクトチームの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 端末活用に係るプロジェクトチームを設置し、推進校及び教育委員会の取組に対して助言を依頼する。 ・ 生成 A I の授業等における効果的な活用法や留意点等に

	<p>ついて研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 数名の教職員で構成する。・ 市内の現状を把握するために随時会議を実施する。 <p>※ 令和 10 年度以降の方策については、本事業の成果と課題をふまえて検討する。</p>
--	---